

彙報

真宗学会

◇『親鸞教学』第二十一号（親鸞聖人御誕生八百年・立教開宗七百五十年記念）
発行 十二月二十日

目次

『教行信証』の仏教思想史上の意義

行信論

『教行信証』と『選択集』

真実教の開顯

——『大無量寿經』の仏教史観——

根本願・根本言

光明・名号の因縁

瞬間と持続

——行の一念を問う——

真実信への展開

——別序の内幕に即して——

群生海のころろ

真宗教判論序説

——親鸞の菩提心論を中心として——

現生利益の考察

——真仏弟子の諸問題——

唯除の機

願生の仏道

——法蔵の願心への呼応——

本願力廻向

還相廻向の問題

本願酬報の意義

宗祖の三経観

——特に隠頭釈によって——

内観道の実践

仏性論上から見た親鸞の地位

鎌倉仏教の成立と『教行信証』

現代と仏教

信における未来の問題

現代と仏教

信における未来の問題

仏教学会

◇修士論文・卒業論文梗概発表会

一月二十三日

昭和四十七年度は、修士論文に十一名、卒業論文に五十七名の提出者があった。

於 一号館会議室

大門 照忍

小林 光紀

寺川 俊昭

林 一宗

小野 蓮明

江上 淨信

藤原 幸章

伊東 慧明

横超 慧日

赤松 俊秀

西谷 啓治

曾我 量深

哲学会

『哲学論集』第十九号発刊（三月一日）

内容

。神秘主義の概念……………坂本 弘

。都市化と宗教構造……………京都府山科地区における

——実態調査の中間報告——

……………池田 義祐

……………豊島 寛城

……………高橋 憲昭

……………アメリカにおける

外国思想流入の一過程

田中圭治郎

日本仏教史学会

◇大学院修士論文発表会

一月二十三日（火）二時半

於 二〇六番教室

修士論文提出者八名の発表があり、活発に質疑応答がかわされた。

参加 赤松教授・名畑助教・大桑助手

・佐々木特研員、院生・学生四十名。

哲学会

◇『哲学論集』第十九号発刊（三月一日）

内容

。神秘主義の概念……………坂本 弘

。都市化と宗教構造……………京都府山科地区における

——実態調査の中間報告——

……………池田 義祐

……………豊島 寛城

……………高橋 憲昭

……………アメリカにおける

外国思想流入の一過程

田中圭治郎

。プラトンの詩観

——『イオン』を典拠として——

……………富田 章夫

必要とされる方は哲学研究室、或は教育学研究にお問い合せ下さい。

宗教学会

◇宗教学公開講演会

一月二十日 午後一時半より

於 二〇四番教室

演題 「神学に於ける特殊性と普遍性」

講師 有賀鐵太郎

出席者 坂本教授、大屋助教、古賀講

師、ほか多数の本学先生方及び学生が

参加した。

講演静聴後有意義な質疑応答が交さ

れ、盛大裏に終わった。

教育学会

◇卒業論文発表会 二月十日

出席 太田助教、大竹助教、田中助

手、学生二十名。

国文学会

◇大学院国文学研究会誌「松柏」(多屋頼俊先生退職記念特集号) 発刊。

・多屋頼俊先生略歴・著作目録

・『源氏物語』夕顔の境涯をめぐって

入部 正純

・『源氏物語』夕顔の巻における「あや

し」の表現について 小川 重俊

・『今昔物語集』に於ける往生思想

石橋 義秀

・『百座法談』比喻譚小考 安東 大隆

・『撰集抄』における遊女 沼波 政保

・『一言芳談』と『祖師一口法語』

野村 卓美

・時衆の本作和讀の形成 北沢 好一

・『可笑記』の「すき」について

末武 恭子

・「心中」の意味 沙加戸 弘

・『鏡ヶ池操松影』に於ける因果

後小路 薫

(A5判八八頁、昭和四八年三月刊)